

# 東海大学付属諏訪高等学校

# PTA 会報

発行：東海大学付属諏訪高等学校 PTA

編集：会報委員会

印刷：(株)美騰堂



## 感謝 母校愛を大切に

東海大学付属諏訪高等学校  
PTA会長 黒澤俊彦

寒さ厳しき中にも、軽やかな春の足音が聞こえてきそうな今日この頃。卒業式を間近に控えた三年生、また修学旅行を心待ちにしている二年生、そして先輩になる自覚が芽生え始めている一年生の皆さん、いよいよ二〇二〇年度も大詰めを迎え、今年度の学校生活をそれぞれの立場で振り返り、新たな目標に向かう心の準備期間となりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による「緊急事態宣言」のもと、臨時休校を始め、高校生活は例年通りには送れず、楽しみであった修学旅行や建学祭などのイベント行事、また集大成となる各種部活動の大会が中止になり、今までに経験のない大変な高校生活であったと思います。しかし、この東海大諏訪高校で仲間と一緒に、不便で不安な制限下の日常でも、少しずつ感染拡大防止策を講じながら高校生活を送られた経験は、忘れられない時間であり、貴重な経験となった事でしょう。また、今まで通りが普通ではない、当たり前前の生活が当たり前ではない事を改めて考えさせられた一年でもありました。

この苦難の中、教職員の皆様、生徒会の皆さんを中心に試行錯誤しながら学校生活が滞りなく送れたことに感謝いたします。

東海大諏訪高校は、大勢の諸先輩方と教職員の方々が、地域の皆さんと共に長い時間を積み重ね今日この学校が築き上げられています。今年度は、一人ひとりが相手を思いやり、一人が皆のために、皆が一人のために行動することで学校生活を送る事ができました。今度は、学校への「感謝」を持ち、一人でも多くの皆さんがこの先、学校に対し自ら出来る範囲の中で、形式にこだわることなく、自由な形で心を寄せ、後輩たちのためにご尽力いただければ幸いです。

三年生の皆さん、また保護者の皆様には、ご卒業おめでとうございました。これから新たな目標への挑戦・スタートとなるわけですが、勇気を持ち失敗を恐れず一歩ずつゆつくりと進んで下さい。皆さんの無限の可能性がそれぞれの夢や希望にいつの日か繋がる事を心から願い、私も陰ながら応援させて頂きます。

また、三年間ご指導頂きました教職員の皆様、地域の皆様のPTA活動へのご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

最後になりますが、今年度のPTA活動も厳しい状況の中、会員皆様のご理解とご支援を頂きながら進める事ができました事に改めて深く感謝・御礼申し上げます。本当に有難うございました。



## 「令和二年を振り返る」

校長  
中村 正幸

早いもので令和二年もあと数日を残すところとなりました。後世にこの年のことは多くのことが語り継がれていくことになるでしょう。人類を恐怖に陥れた「新型コロナウイルス」の出現した年なのです。三月に政府から全国の教育機関に対して休校処置が下されました。勿論本校も休校期間に突入いたしました。生徒が登校しない学校を二か月間経験しました。普段聞こえてくる笑い声や吹奏楽部の音色、クラブ活動における大きな声などが全く聞こえない学校を初めて味わうことになってしまいました。何とむなしなものなのでしょう。何と寂しいものなのでしょう。我々学校関係者は教室やグラウンドに生徒がいることが当たり前になっていたのですね。その「いつもの日常」を激変させたのがこの感染症だったのです。生徒諸君も自宅学習となり不安だったことでしょう。同時に我々教師も不安でした。そこで本校は生徒と担任によるリモート面談を企画いたしました。生徒の不安に少しでも寄り添うことができたと思っております。また課題配信やリモートによる授業などで学習の遅れに対する処置を講じました。今までにない経験をこのコロナにより、我々は得ることもできました。これは今後においても活用することができるといえると思います。「怪我の功名」ではないですが新たな教育活動となるものではないでしょうか。

しかしながら本来、人は常にだれかに寄り添い、人と人の繋がりにより経済が動き、学校においては対面での授業が本来の姿です。

「いつもの日常」がすべて止まってしまったのが三月に発せられた「緊急事態宣言」なのです。人々は言いしれない恐怖に怯えました。多くの著名人が感染され命を落とされました。様々な「デマ」や風評被害が出ました。いたいこの感染症の本質は何なのだろうと専門家たちが盛んにメディアに登場し論評を繰り広げられました。

それからもう八か月が経ちました。ここに来て更に感染者数が増え、重症の方が増えてきたのです。政府の様々な施策に対する批判や社会不安が増大してきたのです。生徒を支えていただいている保護者の皆様におかれましても、このコロナによる経済的打撃は、相当なものではないかと推察いたします。そんな社会情勢の中で、本校の教育活動に対して、ご理解ご支援を賜うことに深い感謝をいたします。本当にありがとうございます。

高校三年生においてはあと数日で卒業を迎えるのですね。皆さんは楽しみにしていた修学旅行や学校行事が軒並み中止になってしまった世代ですね。本当に悔しい思いをされたことでしょう。またクラブ活動においても、公式戦や発表会などがコロナにより開催中止になってしまいましたね。本当にどのように声をかけてよいか分かりませんでした。そんな中でも六月から元気に登校してくれて、明るく何事にも取り組んでくれた皆さんに本当に感謝いたします。まだまだコロナは収束を見ませんが力強く一歩を踏み出してください。

卒業に際し皆様に幸多かれと祈ります。



## 今できることを

校外指導委員長  
伊藤 敦史

二〇一九年に世界に初めて報告された新型コロナウイルスは一年を経過したこの二〇二〇年度にも大きな影響を及ぼし、現在もその収束に至る道筋が見えない状況が続いております。前例のない状況に、校長先生をはじめ先生方におかれましては、非常に悩み、検討を重ねながら様々対応されてきたと思います。感謝申し上げます。

校外指導委員は例年、年二回の校外パトロールを行ってまいりました。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から実施のタイミングが掴めず、第二波のピークが過ぎた十月に一回実施できただけとなりました。

十月にもなると日の入りも早くなり、日の落ちた通学路の環境を確認するといふ点も併せて注意しながら、生徒の下校時の様子のパトロールを委員十一名にて実施しました。今回は学校から公園内を通過し公園大橋に至った後、運動公園線を経由して学校へ戻るルートを巡回するようにパトロールを実施しました。

パトロールの結果、以前からも提言されてきた内容とかぶりませんが、照明が少なく暗いという意見が主に上げられました。公園内の照明については、以前からも市に対して働きかけがなされているという事ですが、生態系保護の観点からいわずらに明るくすることはできないという事なので、LED化を是非とも進めてい

ただきたいところです。

また、暗い坂を自転車で行き通することは極めて危険であると認識しました。過去には事故も起こっているとのこと、生徒に対して学校からも公園内の通行に当たっては自転車は押して通過するように指導がなされているという事ですが、毎年新一年生が入ってきますので今後も引き続き指導をお願いいたします。

新型コロナウイルスによる影響により、様々な活動に制限がかかる状況はまだまだ続きそうですが、全員が知恵を絞って今できることを対応していくことが今は最も大切なことだと思います。皆さん引き続き頑張ってください。





### 「ニューノーマル下での高校生活」

富士見地区 矢澤 美香

四月、新しい環境での高校生活がスタートする…はずでした。しかし、新型コロナウイルスという見えない脅威のため、入学式を終えた翌日から休校を余儀なくされました。

そんな状況下でも、オンラインによる課題の提出等、学習に滞りが生じない仕組みはさすが東海大付属高校、入学できてよかったと思える瞬間でした。

また同時期には、一度しか会っていない同級生と「コロナ等でのコミュニケーションを図ったり、Zoomの操作や課題提出のやり方など相談しあったり助け合ったりしてたようです。双方のやりとりがあつてこそ、いつまで続くか分からないこのような状況下で、抱いた不安を払拭できたのではないかと思います。

登校できるようになったのは入学から二ヶ月が過ぎた六月。授業もようやく始まり、七月には本格的に部活動も始まりました。中学の頃より、高校に入ったらバドミントンをやりたいと言つた通り、バドミントン部に入部し、お世話になることになりました。中学ではソフトテニスをやりましたが、三年の部活動引退後はこれといつて、運動もしていなかったため、入部当初はランニングや筋トレをするだけで、大層へばつて帰つてきていました。また技術面でも、ソフトテニスとはまったく異なるように、修正するのに苦戦していましたが、先輩によく教えていただき、弱音を吐くことも多々ありますが、継続してこられていきます。一緒に仲間とも気が合うようで、話を聞いてみると、部活動自体は大変なようですが、とても楽しそうです。

今までとは違う形でスタートした高校生活も、もう一年が終わろうとしています。今の社会環境からすると、今後の生活もどうなっていくのかわかりません。また、制限されることも多々あることでしょう。限られた中でも自分自身の目標を持ち、

日々精進していつでもraithたいですし、瞬間に過ぎていく高校生活を、思いっきり楽しんでもらえたらと思います。

### 「時代は変われど」

永明地区 中村 史

「それ、何ていう曲?」

私が曲を聴いていると、息子が曲名を聞いてくる事がある。私がアーティスト名と曲名を答えると、さつそく息子は曲をかけ始める。リピート・リピート・リピート。ひたすらリピートして聴いている。確かにその曲は私も好きな曲だが、そんなにリピートされても…。

そんな事を思いながら、私はふと思いついた。「あなたがあまりにも毎日同じ曲を聴いているから、お母さんもうその曲の歌詞まで覚えちゃったわよ。」

私が高校生の時、母に言われていた言葉だ。母はその曲の歌詞をすっかり覚えてしまうまで毎日ひたすら私にその曲を聴かされ続けていたわけだ。それで怒られた事はない。今更ながらその事に関して文句ひとつ言わなかった母は偉かったのだな、と思う。

高校時代、私は親にテストの点数や順位を報告した覚えもなければ聞かれた覚えもない。勉強しろと言われた事もなければ、深夜までうたた寝していても注意された事もなかった。一回自分の部屋へ行けば朝まで出てこない親だった。今にして思えば不思議だが、その距離感に助けられていた部分もあったのかもしれない。

一方、今の息子たちはクラッシーへのボタン一つで、クラス内や東海大学付属グループ内の成績順位・点数が瞬にして出てくる。圧巻である。またちよと三言言いたくなる。と同時に息子たちは大変だな、とも思う。そうは思っていないややはり、三言二言三言は言ってしまうのだが……。

時代は変われど、高校生はやはり高校生。己の葛藤の仕方、各々それぞれにそれぞれ様々あるだろう。時代は変われど、やはり青春は青春。数字の中だけにとどまらず、「少年よ、大志を抱け!」

### 「千里の道も一歩から」

諏訪地区 春日 一樹

娘がバドミントンを始めたのは中学年生の時。友達と見学に行ったのがきっかけでした。いつの間にかのめり込み高校でもバドミントンを続けたいという思いが高まり東海大諏訪高校でもお世話になることに。最初は中学の社体の練習とは違い練習量も多く正直続けられるのか心配もありました。しかし、娘はそんな気持ちとは裏腹に練習に励み、試合に出たいという競争心が強まってきました。二年生の頃は負けず嫌いの性格も結果に繋がり試合に出させて頂くことも多くありました。また面倒見の良さや責任感、みんなをまとめる力も認めてもらい、中学と高校と部長に任命されました。部長という大役を受けてからは自分のことだけでなくチームとしてみんなをまとめることの難しさ、みんなの意見を聞きながら良い方向につなげていくにはどうしたらいいのかと悩む日々が続きました。時にはイライラした態度にでしてしまうことも多く、ストレスもあつたと思います。そんな中、相談ののつていくうちに娘の口から出たのはやはりそばにいてくれたのは仲間だったといひます。苦しい時辛い時に一緒に話を聞いてくれた友達。そんな仲間をずっと大事にして欲しいと思っています。

昨年度からコロナ感染症が流行し、休校になり今までの生活とは全く違い、初めて経験するこの状況に戸惑いながらも日々を過ごしてきました。思うように練習が出来ないうえに大会は中止になることも。娘が頑張っている姿を自分の目で見る経験がもてないことは切ないですが、試合ではない娘の頑張りも日々一緒に見れたように感じます。そして、部長として経験したことは必ずこれからの人生に役立つことと思えます。高校生活も残り一年。いっぱい泣いて笑って楽しい一年を過ごしてほしいと思っております。

## 「逆境もよし、順境もよし」

下諏訪地区 山田 一幸

早いもので、息子が東海大諏訪高校へ入学して二年が過ぎようとしています。入学当初は、初めての電車通学で毎朝慌ただしく登校していたようですが、最近は大分慣れてきたようです。そんな息子は現在吹奏楽部にお世話になっております。息子が吹奏楽を始めたきっかけは、中学校へ入学してすぐなどの部活に入るか迷っていた息子に、「お父さんは、中学、高校と吹奏楽部に入っていたよ。練習は大変だったけど、とても楽しかったよ」と当時の昔話を交えて話をしたところ、少し興味を持った様でそのまま入部しました。当時あまりものを欲しがらなかった息子でしたが、ある日「自分の楽器がほしい」とお願いされ、昔自分も楽器が欲しかったことを思い出し、また息子の熱意に負け楽器を購入。届いた新しい楽器を手にした息子の笑顔。今でも大切そうに楽器を磨いている姿。大変な練習に耐え、仲間と楽器を演奏する楽しさを知り、そんな頑張っている息子を見て、一生懸命になれることが見つかったよかと感じています。今はコロナの影響で、様々な部活が思うような練習、活動が出来ず、大変な時だと思えます。そんな中、昨年吹奏楽部の定期演奏会を拝聴させていただきました。限られた練習時間の中、部員全員で知恵を出し合い、工夫しながら仕上げたのだと思います。息子もまた部員の二員となり苦労したのだと思います。しかしそんな事を感じさせない素晴らしい演奏会でした。

私の好きな人物の名言に「逆境もよし、順境もよし。要はその与えられた境遇を素直に生き抜くこと」という言葉があります。

息子にはこれから様々な苦労もあると思いますが、今までに出会った素晴らしい仲間と共に前に進んでいってほしいものです。

## 「未曾有の災禍」

岡谷地区 宮坂 美栄

二〇二〇年、新たな年を迎え、程なく新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、その後、日本の各地でも感染が広がり緊急事態宣言が発令されました。学校も休校になり、部活動も活動できなくなり、家で過ごす日々が始まりました。

息子が所属する野球部では、毎日、先生やコーチの方々に体温や体調を報告し、それと同時に練習内容や練習している様子を撮った動画を送り、必要に応じてアドバイスを頂いていました。一人一人にメッセージを送ったり声を掛けたり、部員数が多い野球部の対応、なかなかできることでありません。小学校二年生から野球を始め、これほど長い期間、野球から離れ家で過ごすことがなかった息子にとつて、このやりとりはかなり精神的にも助けられたことと思います。活動ができなながらも、適切に対応して下さり本当にありがたかったです。

自粛期間中、練習以外に体作りにも励んでいました。息子は体が小さく、思うように体重が増えないことが悩みだったので、学校が休みの間はとにかく規則正しい生活をし、三食欠かさず食事をし、さらに栄養がある間食を心がけていました。その生活の中で息子は自分でも料理をするようになりました。ご飯を炊き、目玉焼きを焼き、さらにはプリンを作るまでになりました。そのおかげもあつてか、体重は大幅に増え、我が子ながら成長を感じる出来事でした。

息子は今二年生、今年の夏で部活動は引退になります。活動に制限があつたとしても、今できる精一杯でやりきるしかありません。今までは野球ができて当たり前、学校に行けて当たり前、何も不安になることもなく過ごしてきたことと思いますし、私もそうでした。この未曾有の災禍に直面し、当たり前に思っていたことが当たり前でないことに気づいた今、感謝の気持ちをお忘れず、どんな逆境にも立ち向かい前向きに取り組んで欲しいと思います。

## 「雲の上はいつも晴れ」

伊那地区 伊藤 健一

心胸躍らせ二年生に進級するはずの我が子であったが、コロナウイルスにより普段の生活が、転、ウイルスに怯えながらの生活がスタートしました。新学期早々緊急事態宣言による自宅待機を余儀なくされ、クラス替えによる新しい仲間との顔合わせも出来ぬまま二ヶ月近くも経過してしまひ子供は戸惑いながらも新しい教室へ向かいました。

クラブ活動も県外遠征は禁止、マスク着用、手の消毒、三密を避けての行動、学校がスタートすれば電車での通学も始まり感染リスクが高まる為、私たち親も心配でした。子供たちも感染対策も当たり前になる中、子供のモチベーションが下がっていることに不安を感じていました。

高校三年間は小学生から始めてきたバレーボールを悔いの残らないよう全力でやり抜く、子供も親もそう思っていました。あまり感情を表に出さない息子は、今何を思い、何を考えているのか、バレーへの情熱が冷めてしまったのではないかと心配になりました。

今、社会の変化が著しい未来で、自分に適した進路の選択にも悩んでいるようです。

今はどんな職業に就きたいかではなく、今は正確に社会の変化をしっかりとキャッチアップして行く事が大切だと思います。ウイルスにより世の中の経済が不安定な中、「問題を解決する力」よりも、「問題を発掘する力」を養う時だと思えます。高校生活もあと二年少し、ウイルスとの戦いもまだ続きますが、子供にはしっかりと自分の足元を固め、「自考力」を身に付けてほしいと思います。

空と同じようにいつまでも曇りの日はかりではありません。必ず陽が差すことでしょう。

私たち親も頑張ります。今まで以上に子供たちを見守りたいものです。最後になりますが、感染対策にご尽力されております学校関係者の皆様に敬意と感謝申し上げます。

# 「第28回定期演奏会」を開催して

この度、第28回定期演奏会を11月20日(日)に茅野市民館マルチホールにて開催いたしました。今回の演奏会は、コロナ感染予防対策を考え、会場キャパシティの半分の席数(350席)を用意し、関係者のみ会場にご来場いただき、一般のお客様にはYoutubeでのLIVE配信やアーカイブ(録画放映)でお楽しみいただきました。遠方のお客様の中には姉妹都市のアメリカのロングモント市の吹奏楽団の先生もご覧になっていたそうです。

演奏会は、1部クラシックステージ、2部ポップスステージの2部構成で行い、1部のクラシックステージでは、緩急のある選曲にし、また今年度の吹奏楽コンクールに出場をするために準備をしていた課題曲、自由曲や吹奏楽の新しい響きを追求するための新曲を披露いたしました。2部では、東海大諏訪メドレー2020「愛」～キュンじゃなくてズッキュン!～と題して「愛」をテーマに部員が選曲して様々な「愛」の形の表現された曲をあけてメドレーにアレンジしました。年代を越えて様々な曲を取り上げ、笑いあり涙ありのステージを演出し、フィナーレの曲は、当部3年パーカッションパートの古畑貴啓が作曲した「START」で幕を閉じました。

このコロナ禍で開催が危ぶまれていましたが、部員の1年間の取り組みの成果をこの演奏会に込めることができ、3年生は引退しました。いつも暖かく応援して下さいる保護者の皆様、お世話になっていた教職員の皆様もたくさんお越しいただき立派に成長した姿を披露でき、うれしい気持ちでいっぱいです。これからも演奏を聴いて下さる方たちのために精進し、心にしみる音楽をしていきたいと思えます。



## 科学部の出前講座

科学部は現在、2年生10名、1年生8名が在籍し、地域での出前講座を中心に活動しています。私たちが小学校や保育園、公共施設等で科学教室を行うようになったきっかけは2つあります。1つ目は、数年前から全国で、サイエンスショーや科学イベントが頻繁に開催されるようになったことです。首都圏では参加の機会が沢山あるのに、この地域ではほとんどありません。経済的に余裕があり、教育熱心なご家庭なら交通費等の負担も苦ではないでしょうが、そうではない子供達にも平等に、科学の楽しさと不思議さを伝えたい。それならばいっそのこと、私たちが無料で実験ショーやイベントを実施しよう、と考えました。

2つ目は、小学校の先生方から「最近、長野の子供達も理科離れが進んでいる」という声を耳にしたことです。この茅野地域は豊かな自然環境に恵まれ、精密機械産業やものづくりが盛んです。身近な自然や日常生活と科学の関連を、大人ではなく高校生が実体験を通じて教えることで、子供達のありのままの好奇心や興味関心を喚起できるのではないかと、思いました。こうして10年ほど前から、出張科学教室がスタートしました。

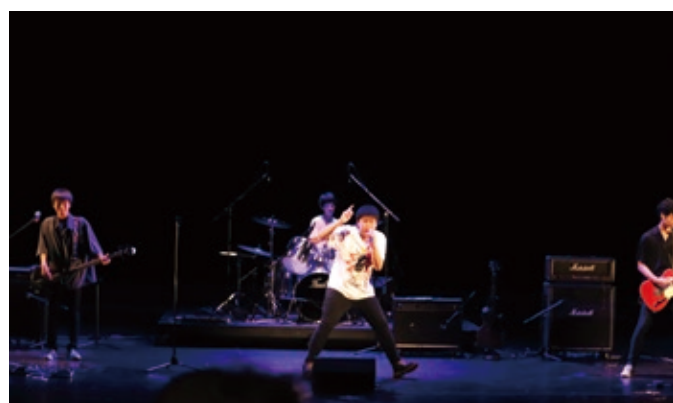
科学教室は、サイエンスショーと体験ブースの2部構成になっていて、司会や運営も部員が行います。初めはカチコチに緊張して人前に立っていた1年生が、2年生になると堂々と後輩に指導できるようになり、3年生になるとアドリブで観客を笑わせたり、新しいパフォーマンスや構成を考えるようになります。こうした活動を通じて、企画力・運営力・プレゼンテーション力・コミュニケーション力の四つの能力を身に付けてほしいと考えています。

私たちの活動はとても小さなものですが、地域の理科教育の活性化を図るとともに、地域産業や自然環境保護の分野で活躍できる人材育成の一助を担うことができたらと思います。そして科学教育における地域格差を改善し、家庭の経済力に関係なく平等に子供達がサイエンスに触れる機会を提供することで、SDGsの「質の高い教育をみんなに」という目標実現に貢献できたら嬉しいです。



# 東海文化フェスティバル

東海文化フェスティバルが9月13日(日)に茅野市民館で行われました。13団体がロビーとマルチホールで発表しました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事前予約のチケット制で入場制限をして行いました。受付の教職員と生徒はフェイスガードを使用してこまめな手指の消毒を行いました。また、ステージの上でも司会者とインタビューを受ける生徒はフェイスガードを付けるなどして感染予防の厳戒態勢で行われました。展示発表をした7部活8団体(書道部、科学部、写真部、美術部、英語部、インターアクトクラブ、茶華道部、課題研究)は日頃の活動の成果を展示し、来場者の目を楽しませていました。マルチホールでライブやビデオ発表した5部活6団体(チアリーディング部、ダンス部、科学部、音楽部、吹奏楽部、生徒会)ではチアリーディング部の圧巻の演技から始まり臨場感のある音楽部のライブ演奏はコロナの中にもありながらも観客と一体感を持ったものとなりました。吹奏楽部のミニコンサート前後には多くの保護者が来場し、イベント全体を盛り上げました。今回の東海文化フェスティバルは、生徒会本部役員が司会や企画運営をしましたが、引退した野球部員も本部役員として、裏方の力仕事や換気をしてくれました。来年も9月に開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、例年通りに実施できることを願っています。



# かがやく部活動 栄光の記録

## 男子バドミントン部

長野県高等学校総合体育大会代替大会(南信地区) 2020.7.23  
優勝  
南信高等学校新人体育大会 バドミントン競技大会  
2020.10.31~11.3  
蟹澤 翔太 小澤 琉晟 ダブルス優勝 県新人大会出場  
小澤 琉晟 シングルス優勝 県新人大会出場  
蟹澤 翔太 シングルス3位 県新人大会出場  
梶村 駿介 シングルスベスト8 県新人大会出場

## 女子ハンドボール部

長野県高等学校新人体育大会 南信地区大会 2020.10.3  
優勝  
令和2年度長野県高等学校新人体育大会ハンドボール競技県大会第1期 2020.11.6~7  
ベスト4

## 男子ハンドボール同好会

長野県高等学校新人体育大会 南信地区大会 2020.10.3  
第3位  
令和2年度長野県高等学校新人体育大会ハンドボール競技県大会  
2020.11.6~11.7  
2回戦

## ソフトテニス部

南信高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技大会 2020.9.19~20  
第2位  
長野県高等学校新人体育大会 ソフトテニス競技大会  
2020.10.24  
福本 日奈子、丸山 愛稀 第6位

## 少林寺拳法部

令和2年度長野県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技大会  
2020.11.8  
【団体】  
優勝 第24回全国高校少林寺拳法選抜大会  
【個人】  
小林 悠生 男子規定単独演武 256点 優勝  
第24回全国高校少林寺拳法選抜大会  
浅川 友来 男子自由単独演武 262点 優勝  
第24回全国高校少林寺拳法選抜大会  
牛尼 萌那 女子自由単独演武 261点 優勝  
第24回全国高校少林寺拳法選抜大会  
鷹野 大地、浅川 凰生 男子自由組演武 260点 優勝  
第24回全国高校少林寺拳法選抜大会

## 男子バレーボール部

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会長野県代表決定戦  
2020.11.14  
第3位  
長野県高等学校新人体育大会 2021.11.16~18  
ベスト8  
南信高等学校新人体育大会 2020.12.12~13  
第2位 県大会出場

## 女子バレーボール部

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会長野県代表決定戦  
2020.11.14  
第3位

南信高等学校新人体育大会バレーボール競技大会

2020.12.12~13

優勝

令和2年度長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技大会

2021.1.15~18

第2位 北信越新人大会出場

## 男子サッカー部

第99回全国高校サッカー選手権大会 長野県大会

2020.9.19~11.7

ベスト8 第99回全国高校サッカー選手権大会出場

南信高等学校新人体育大会 サッカー競技大会

2020.11.8~11.17

優勝 長野県高等学校新人体育大会サッカー競技大会出場

長野県高等学校新人体育大会 サッカー競技大会

2020.11.28~12.6

ベスト16

## 女子サッカー部

長野県高等学校女子サッカー新人戦

2020.10.25~11.23

第3位

## 男子バスケットボール部

長野県高等学校新人体育大会 バスケットボール競技大会

2020.11.27~11.29

優勝 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会出場

第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会

2020.12.23~12.29

ベスト16

## 女子バスケットボール部

長野県高等学校新人体育大会 バスケットボール競技大会

2020.11.27~11.29

優勝 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会出場

第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会

2020.12.23~12.29

1回戦

## スケート部

第27回全日本スピードスケート距離別選手権大会(ジュニア派遣

選手選考部門) 2020.10.23~25

宮坂 菜緒 女子3,000m 優勝

長野県高等学校総合体育大会スケート競技会 2020.12.14~16

学校対抗女子総合優勝(4連覇)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

女子2000mリレー優勝

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

福岡 歩里 女子3,000m 優勝(大会新記録)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

女子1,500m 2位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

矢崎 萌夏 女子1,000m 3位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

近藤 杏菜 女子3,000m 3位

全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 出場

全国高等学校総合体育大会スケート競技会 2021.1.21~24

女子学校対抗第4位

女子2000mリレー第6位

女子チームパシュート第3位

第44回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会  
2021.1.9~11  
女子チームパシュート準優勝

**チアリーディング部**

第15回北信越チアリーディング選手権大会  
2020.11.8  
JAPAN CUP 2020 チアリーディング選手権大会  
2020.11.13~15  
第31回全日本全日本高等学校選手権大会  
2021.1.31

**陸上競技部**

北信越高等学校新人体育大会 陸上競技大会  
2020.10.23~10.25  
河野 統徳 100m 11秒22 5位  
小坂 悠太 800m 1分57秒20 5位  
1500m 3分55秒75 優勝  
今井 頼人・河野 統徳・小坂 悠太・名取 勇人  
4×400mR 3分22秒72 3位  
三澤 百佳 200m 26秒34 7位  
400m 57秒53 優勝  
川口のは 1500m 4分50秒64 5位  
濱田 みなと・三澤 百佳・小口 葉奈・小林 万莉  
4×100mR 49秒55 3位  
小林 万莉・中原 希空・濱田 みなと・三澤 百佳  
4×400mR 4分01秒69 6位  
小林 万莉 七種競技 3925点 3位  
全国高等学校陸上競技大会2020  
2020.10.23~10.25  
北岡依生希 200m 25秒51 組6位  
小林 舞香 800m 2分11秒21 組3位

**柔道部**

長野県高等学校新人体育大会柔道競技大会  
2020.11.7  
高寺 優也 男子 90kg級 3位  
永野 元政 男子 66kg級 2位  
塩澤 心大 男子 73kg級 3位  
川上 涼太 男子 81kg級 3位  
小林 大勇 男子 90kg級 3位

**吹奏楽部**

第9回日本学校合奏コンクール ソロ・アンサンブルコンテスト  
全国大会 2020.11.8  
高校の部 金賞 (4位)

第30回日本クラシック音楽コンクール 全国大会 2020.12.19  
入選  
第17回日本管弦打ソロコンテスト 全国大会 2020.12.25  
銀賞  
第46回アンサンブルコンテスト 長野県大会 2021.1.17  
銀賞 (10位)  
第46回アンサンブルコンテスト 長野県大会 2021.1.17  
銀賞 (22位)  
第19回管楽器個人・重奏コンテスト長野県大会 2021.1.23  
金賞 (7位)

**書道部**

第57回全日本書初め大覧覧会 2021.1  
茅野 紬 特選  
斎藤 憂羽 秀作  
第70回全日本学生書道展 2021.1  
茅野 紬 秀作

**美術部**

第10回諏訪地区高等学校美術展 2020.11.12~15  
小林 万優子 入選 長野県高等学校美術展

**英語部**

第29回岡谷市英語スピーチコンテスト 2020.12.13  
新田 菜央 奨励賞

**演劇部**

第62回諏訪地区高校演劇合同発表会 2020.9.12~13  
2位

**音楽部**

2020(令和2)年度 第16回長野県高等学校文化連盟軽音楽専門部 県フェスティバル Power Live 2020 KF 2020.10.30~31  
優秀賞 (ベスト4)



**部活動  
記録-2**

**編集後記**

2020年(令和2年)、世界中を震撼させた新型コロナウイルス。

感染拡大による未曾有の事態の只中にあり、このパンデミック(感染症の大流行)は現代の誰もが経験したことの無い事象であり、私たちの日常は様々な形で制約を晒されています。

今までのごく普通の生活が奪われ、学校行事のほぼすべてが中止になり1年間本当に制限される中での生活を送ってきました。

特に3年生の皆さんは、緊急事態宣言で登校できない数か月をはじめとして高校生活の最も思い出になる修学旅行や各部活の主要な大会など貴重な経験ができない状況でモチベーションを保つのに本当に大変だったと思います。そしてその子供たちを支えていただいた校長先生をはじめ教職員の先生方や各ご家庭の親御さん方の大きな支えがあってなんとか大きな事態にもならず、生徒たちの為に多大なるご尽力をいただいたことに感謝申し上げます。

学校側の対応の速さや感染拡大防止への各対応など本当にご苦労をいただいたと思います。子供をこの東海大諏訪高校に入学させて本当に安心できましたしありがたかったです。

この今まで経験したことの無い事態がこれから先の世の中でどう変化していくか分かりませんが、2020年の経験で感じた事・学んだ事を自分の中でしっかり把握し、これからの人生にプラスになるよう強く望みます。

最後に、今年度は通年とは大きく違い予定されていた学校行事がほぼすべてにおいて自粛されましたが、その中でもご協力いただいた中村校長先生をはじめ教職員の先生方・PTA役員の皆様・保護者の皆様・会報担当の柁淵先生には本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

会報委員長 伊倉 隆裕